

実サンショウの収穫

1. 収穫前

開花時期を確認し、満開日から収穫適期日を予測します。満開から約1ヶ月後が収穫の目安です。

2. 収穫

(1) 収穫時期（5月中旬～6月上旬）

開花後の天候が良く、適度な降水がある場合、実の成熟は早まります。

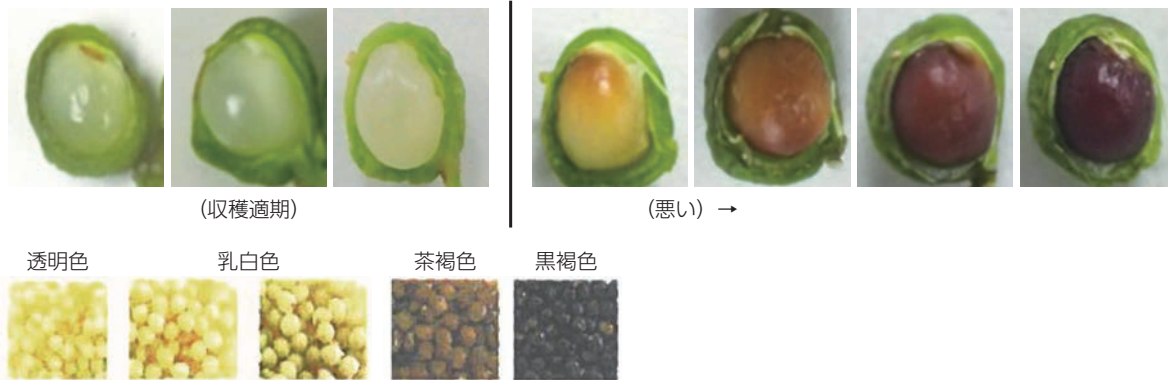
成熟の早い果実を複数割って種子色を確認し、種子色が透明から乳白色に変わる時点で収穫を開始します。収穫期間中は毎日種子色を確認し、種子が茶褐色や黒色に変色していないかどうかを必ず確かめます。

・開花ステージ



(参考) 今年の満開状況
一宮町閏賀……4月18日頃
太子町……4月15日頃
たつの市……4月17日頃

・収穫時期別の種子色の変化



(2) 収穫方法

晴天の日に行く。雨天の収穫は品質低下をまねくので避ける。

収穫は房ごと摘果鋏、爪等でつみ取り、房がばらけないよう注意する。

(3) 収穫後

- ・収穫後は直射日光の当たらない涼しいところに置く。
- ・収穫した果実は蒸れやすいので、うすく広げ、乾燥防止に新聞紙等を上にかける。

3. 礼 肥

果実の収穫後、お礼肥を施用します。サンショウでは6月～7月に行います。お礼肥により果実の肥大による樹体の衰弱をいやし、新梢の発生・充実、翌年の成長に必要な貯蔵養分を樹体内に蓄積させます。

鶏ふん (N:P:K=3:4:3) を使用する場合

1樹当たり 1～3年生……400g 7～13年生……1.1kg
4～6年生……840g 14年生以上……1.4kg

シシトウ

でこぼことした起伏のある形が獅子の顔をイメージさせることから別名シシトウガラシとも呼ばれます。辛くない品種ですが、まれに凄く辛く、まさに唐辛子その物といったものもまぎれていたりします。



作 型

早い時期から収穫するには、購入苗をトンネル栽培するとよい。日光トウガラシやスピノーザの緑果はシシトウとして、赤くなったらトウガラシとして利用できる。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
春 植 え					△		■	■	■	■	■	■	ししとう、伏見甘長、日光とうがらし、スピノーザ

△：植え付け ■：収穫

畑の準備(実生植)

土づくり a当たり	
堆肥	400kg
セルカ(有機石灰)	10~15kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合	
元 肥 a当たり	
醗酵鶏糞	50kg
野菜専用肥料	5kg
畝立時施用	

- 畝幅160cm
- 株間80cm (2条植、千鳥植、条間80cm)
- 畝高40cm

植え付け

- 5月上中旬頃、暖くなってから植え付ける。(トンネル被覆を行うときは4月中旬頃から植え付ける。)
- ポリマルチは降雨後、土壌水分の多いときに行う。(黒色は雑草防止、シルバーはアブラムシの飛来防止の効果がある。)

敷きわら・灌水

- 梅雨明け後、敷きわらをする。
- 高温乾燥が続くときは、夕方に灌水する。

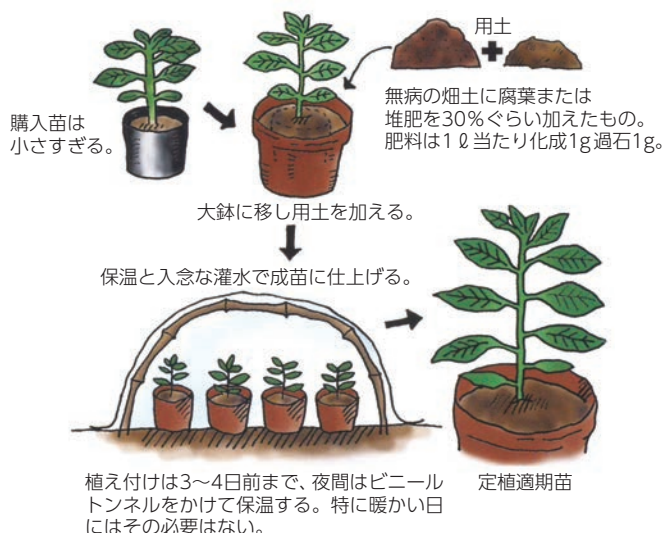


防 除

病害虫名	農薬による防除
アブラムシ類	スタークル顆粒水溶剤 とうがらし類 3,000倍 収穫前日まで 2回以内

育 苗

- 購入苗が小さいときは大鉢に移し定植に適した苗に育てる。(本葉7~8枚)



整枝・支柱立

- 一番花(果)の上2本の枝と主枝を残し、盃状に仕立てる。
- 生育が進み込み合ってきたら枝を間引き、日がよく当たるようにする。

収 穫

- 熟しすぎると果実が赤くなってしまうので、大きくなったものから早めに収穫する。

